

カーボン・オフセットの位置づけ

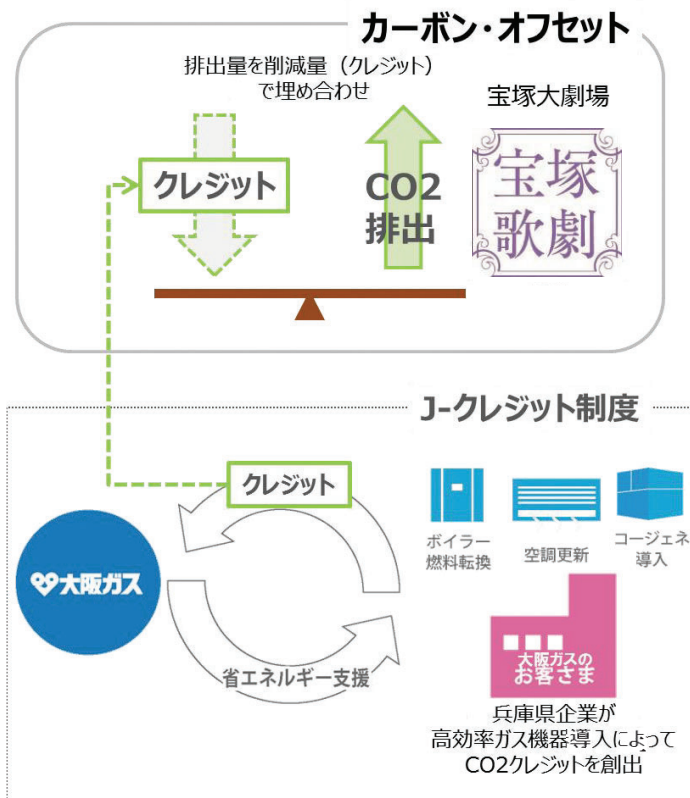
カーボン・オフセットは、「CO₂を出す」側と「CO₂を減らす(削減・吸収)」側2つの活動を繋げ、共同で取組む地球温暖化対策です。海外ではヨーロッパ各国を中心に、オリンピックやワールドカップなどの大規模イベントのほか、さまざまな企業、団体が実施しています。日本では、低炭素社会の構築およびCO₂削減の重要施策として位置づけられ、環境省・経済産業省・農林水産省が合同で普及に取り組んでいます。

カーボン・オフセットの概要

「CO₂を減らす(削減・吸収)活動」は、環境省・経済産業省・農林水産省が合同で運営する「J-クレジット制度」において、適切な計画とモニタリングにより、「CO₂クレジット」として認証を受けることができます。

「CO₂を出してしまう活動」は、CO₂排出量相当の「CO₂クレジット」を購入または支援を受けることで、カーボン・オフセット(CO₂の埋め合わせ)を行い、今回の取組のように「CO₂排出量を実質ゼロとし、地球温暖化防止に貢献」していることをPRすることが可能となります。

本カーボン・オフセットの概要



(以上)